

医師法第 16 条の 10 の規定に基づく専門研修に関する協議概要

令和 4 年 6 月 22 日に開催された医道審議会医師分科会医師専門研修部会において、一般社団法人日本専門医機構から 2023 年度専攻医シーリング及びそれに伴う専門医制度整備指針運用細則の変更案が示された。

また、一般社団法人日本専門医機構から、青森県内における個別の専門研修プログラムについて県に情報提供があった。

このことについて、医師法第 16 条の 10 第 3 項の規定に基づき、資料 1 - 2 のとおり厚生労働省から県に意見照会があったことから、今般作成した下記事項の事務局意見案について御意見を伺いたい。

1 日本専門医機構の 2023 年度専攻医シーリングについて（資料 1 - 3、資料 1 - 4）

- （1）特別地域連携プログラムに関する意見
- （2）子育て支援加算に関する意見
- （3）その他の意見

→県内の医師確保対策や偏在対策に対する影響について協議し、意見を提出する。

事務局意見案は、2 ページ「別紙 1」のとおり。

2 個別のプログラムに関する意見について（資料 1 - 5）

- （1）プログラムの連携施設及びローテーションの設定に関する意見
- （2）プログラムの採用人数に関する意見
- （3）プログラムの廃止に関する意見（該当する場合のみ）
- （4）地域枠医師等への配慮に関する意見
- （5）その他の意見

→連携施設の設定、ローテーション及び採用人数が県の偏在対策に配慮され、地域枠等の従事要件に配慮されたプログラム内容であり、県内の医師確保対策や偏在対策に資するものになっているか確認し、意見を提出する。

事務局意見案は、3 ページ「別紙 2」のとおり。

3 各診療領域のプログラムに共通する意見について（資料 1 - 5）

- （1）複数の基幹施設設置に関する意見（小児科、精神科、外科、産婦人科、麻酔科及び救急科のみ）
- （2）診療科別の定員配置に関する意見
- （3）その他の意見

→小児科、精神科、外科、産婦人科、麻酔科及び救急科について、県内に複数の基幹施設が置かれており、診療科別の定員配置が県内の医師確保対策や偏在対策に資するものになっているか確認し、意見を提出する。

事務局意見案は、5 ページ「別紙 3」のとおり。

国から都道府県への協議に関する意見（事務局案）

都道府県名： 青森県

1. 特別地域連携プログラムに関する意見

シーリングは、医師少数県である青森県にとって、地域偏在を是正するために必要不可欠・重要な制度と考えている。

特別地域連携プログラムを新設する場合は、シーリングによる格差是正効果の減少とならないよう、シーリング内で行うべきである。

2. 子育て支援加算に関する意見

子育て支援は、医師の働きやすい環境を整えるためにも、全ての医療機関が当たり前に取り組むべき重要な施策であると考えている。

本県の医療機関においても子育て支援に取り組んでいるところであるが、子育て支援加算を新設する場合は、シーリングによる格差是正効果の減少とならないよう、シーリング内で行うべきである。

3. その他の意見

地域枠卒医師は、卒後一定期間、所定の地域で医療に従事することを約束して入学した医師であり、特に医師不足が深刻な本県においては、地域医療の担い手としてその役割が大きく期待されている。

地域枠卒医師が専攻医として県外へ転出することは、本県の地域医療に極めて大きな影響を及ぼすものであると考えているが、地域枠卒医師が県外へ転出する際の大学・県の同意／不同意については全国一律の明確な基準がないことから、制度の円滑な運用のため、同意／不同意の基準について国に作成していただきたい。

個別のプログラムに関する意見（事務局案）

都道府県名： 青森県

基幹施設名： 十和田市立中央病院

診療科領域名： 内科

プログラム名： 十和田市立中央病院内科

1. プログラムの連携施設及びローテーションの設定に関する意見

連携施設は青森県内の医療機関であり、青森県内の医師確保対策や偏在対策に資するものである。

2. プログラムの採用人数に関する意見

採用希望定員は3名であり、青森県内の医師確保対策や偏在対策に資するものである。

3. プログラムの廃止に関する意見（該当する場合のみ）

（該当なし）

4. 地域枠医師等への配慮に関する意見

連携施設は青森県内の医療機関であり、地域枠医師の従事要件に配慮された研修プログラムである。

5. その他の意見

内科の専門医資格を取得可能な基幹施設が増加することは、本県の医師確保対策に資するものであることから、申請を承認していただきたい。

個別のプログラムに関する意見（事務局案）

都道府県名： 青森県

基幹施設名： 公立野辺地病院

診療科領域名： 総合診療科

プログラム名： 公立野辺地病院総合診療

1. プログラムの連携施設及びローテーションの設定に関する意見

青森県内の医療機関が連携施設として設定されており、青森県内の医師確保対策や偏在対策に資するものである。

2. プログラムの採用人数に関する意見

採用希望定員は2名であり、青森県内の医師確保対策や偏在対策に資するものである。

3. プログラムの廃止に関する意見（該当する場合のみ）

（該当なし）

4. 地域枠医師等への配慮に関する意見

県内の連携施設を中心としたプログラム構成となっており、地域枠医師の従事要件に配慮された研修プログラムである。

5. その他の意見

総合診療科の専門医資格を取得可能な基幹施設が増加することは、本県の医師確保対策に資するものであることから、申請を承認していただきたい。

各診療領域のプログラムに共通する意見（事務局案）

都道府県名： 青森県

診療科領域名： 全 19 領域

1. 複数の基幹施設設置に関する意見（小児科、精神科、外科、産婦人科、麻酔科及び救急科のみ）

小児科の基幹施設について、新生児疾患以外は、重要疾患のほとんどが大学病院でしか経験できず、指導医の確保も厳しいという状況が平成 29 年度以降変わっていないことから、引き続き大学病院 1 施設のみとすること。

2. 診療科別の定員配置に関する意見

診療科別の定員配置について、本県の医師確保対策や偏在対策に資するものとなっていることを確認した。

3. その他の意見

(別紙 1 の 3 と同意見)